

①個別データシート

整理番号:

JP305044

種類 製品

英名 animal fat

分類 食料品

和名 動物油脂

・GHG排出量

7.06E-01 kg-CO2e/kg

・情報源分類

その他調査データ

・技術記述子

と畜副産物より熱処理で融出した動物油脂

・技術の内容と機能

(と畜副産物)～粉碎～加熱～油脂分離～産廃処理

主要原材料:と畜副産物

主要産出物:動物油脂

- ・と畜副産物(骨、非食内臓、脂等)を熱処理をして油脂分を取り出し、分離する工程を対象範囲としている。下水処理、産廃処理を含む。
- ・原料は砕かれ、クッカー(釜)で熱してから油分を振動篩で分け、固形分はエキスペラで圧搾して油分を出し、油分を分離精製する。
- ・油脂をとった残渣は乾燥して肉骨粉として、廃棄及び飼料、肥料として一部利用されている。

農水省電子図書館:“我が国の油脂事情”, (2001)
動物油脂生産量 農水省:“畜産物流通統計”
日本畜産副産物協会HP:“食肉および副産物の発生割合”

・データ作成者コメント

- ・肉骨粉は乾燥後重量が1/4になると仮定した。
- ・と畜副産物量は、と畜牛豚重量の30%と推定して設定。
- ・エネルギー、水の使用量は、首都圏のレンダリング工場(原材料処理量2600t/年) の例を参考に、と畜副産物量より推計して設定した。
- ・使用水量の8割が下水処理になると仮定して計上した。

・適用範囲

日本における動物油脂の平均的な値である。
工業用原料となる動物油脂である。
廃棄物である、と畜副産物(食用にならない内臓、骨等)を加熱圧搾、精製して製造する。
食用のものは、牛脂、豚脂のデータを使用されたい。

・システム境界

資源採取から製品の製造までを範囲とする。製品の日本国内における輸送を含まない。包装材を含まない。容器充填を含まない。輸送のための梱包材を含まない。排水処理を含む(投入されるエネルギー及び水、水処理剤を含む)。産廃処理を含む。おもな原材料である、と畜副産物は廃棄物であるので負荷は持たない。

・配分

主製品に比べ経済価値が低いので、肉骨粉には配分しない。

・GHG排出量の要因

主なGHG排出源は、熱エネルギー、A重油(A重油)由来のCO2(化石資源由来)、である。

②入出力データ

区分	フロー区分	品目名	連鎖した品目名	公開整理番号	数値	単位	備考	
ユーティリティ	中間フロー	入力	電力	電力,公共	JP120001	2.06E-01	kWh	
ユーティリティ	中間フロー	入力	水	工業用水道	JP323002	5.63E-03	m3	
ユーティリティ	中間フロー	入力	軽油	燃焼・軽油	JP111013	5.02E-03	L	
ユーティリティ	中間フロー	入力	A重油	燃焼・A重油	JP111016	1.91E-01	L	
資源/原材料	中間フロー	入力	と畜副産物	動植物性残さ	*	3.55E+00	kg	と畜副産物
廃棄物処理	中間フロー	入力	下水処理	下水道処理		4.51E-03	m3	
廃棄物処理	中間フロー	入力	産廃処理(動植物残渣)	産廃処理(動植物性残渣)		6.37E-01	kg	肉骨粉
製品	中間フロー	出力	動物油脂,工業用	動物油脂,工業用	JP305044	1.00E+00	kg	